

## コラム③：8月の記録的な高温と少雨

2017年8月は沖縄地方で記録的な高温・少雨となりました。平均気温と降水量は、沖縄気象台が統計を開始して以来、第1位となる値を記録しました。

### 1 沖縄地方の8月の平均気温が過去最高

2017年8月の沖縄地方の平均気温平年差\*は+1.4℃なり、8月としては統計を開始した1946年以来、最も高い値を記録しました。これまで最も高かった1998年の+1.2℃を上回り、記録的な高温となりました(表1)。

沖縄県内で気温を観測している27地点中25地点で、8月の平均気温の最高記録を更新しました。

表1. 8月の平均気温の高い順

順位	年	平年偏差℃
1	2017	+1.4
2	1998	+1.2
3	2016	+0.8
4	2001	+0.8

### 2 沖縄地方の8月の降水量が過去最少

2017年8月の沖縄地方の月降水量平年比\*は19%となり、8月としては統計を開始した1946年以来、最も少ない値を更新しました。これまで最も少なかった1993年の22%を下回り、記録的な少雨となりました(表2)。

沖縄県内で降水量を観測している34地点中10地点で、8月の降水量の最少記録を更新しました。

表2. 8月の降水量の少ない順

順位	年	平年比%
1	2017	19
2	1993	22
3	1971	36
4	2002	40

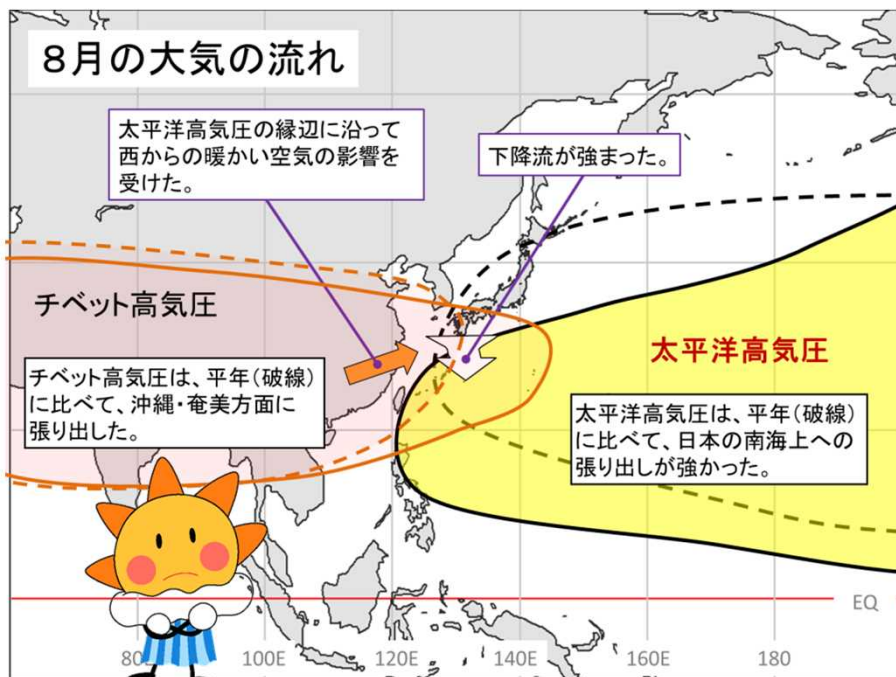
### 3 高温・少雨の要因

\*沖縄地方における地域平均平年差(比)は、那覇、久米島、宮古島、石垣島及び与那国島を平均することにより算出しています。

8月の大気の流れには下記のような特徴がみられました。

- 太平洋高気圧は平年に比べて本州付近への張り出しは弱かったものの、日本の南海上への張り出しは強くなりました。
- 上空のチベット高気圧が平年に比べ沖縄・奄美方面に張り出しました。

このような大気の流れに伴い、沖縄地方では、日照時間が多くなるとともに、下降流の強まりによる昇温、そして、太平洋高気圧の縁辺に沿った西からの暖かい気流の影響を受け、記録的な高温となりました。また、高気圧に覆われて晴れの日が多く、台風の影響を受けにくかったことにより、記録的な少雨となりました。



気象庁マスコットキャラクター  
はれるん

沖縄気象台提供